

「ガスボンベ・エアゾール缶」は 中身を使い切って出してください

最近、よくごみステーションに、中身の残ったガスボンベ・エアゾール缶が出ています。ガスボンベ・エアゾール缶は、ごみ収集車やごみ処理施設での爆発・火災事故の原因となり大変危険です。

ごみステーションに出す際には、次のことに気を付けていただくようご理解とご協力をお願いします。

【ごみ収集車火災の様子】



STEP 1：ガスボンベなどの中身を使い切り穴を開ける

- ◆中身を完全に使い切り、穴を開けてください。穴開けを行う際には、100円ショップやホームセンターで販売されている専用器具を使うと楽に作業ができます。
- ◆エアゾール缶にガス抜きキャップなどがある場合は、商品に記載された使用説明に従ってガスを抜いてください。
- ◆どちらの場合も、風通しの良い屋外にて作業していただき、火気に十分ご注意ください。

(裏面につづく)

STEP 2：中身が空になったか、確認する

- ◆缶を振って、音を聞いてください。中身が残っていると、「シャカシャカ」などの音がします。なお、使用条件により少量は残ることがあります。

STEP 3：不燃ごみとして出す

- ◆里庄町指定ごみ袋「もえないごみ収集用」に入れて、もえないごみの収集日にごみステーションへ出してください。

中身を使い切れない場合は、販売元または次の機関にお問い合わせください。

- ガスボンベ：一般社団法人日本ガス石油機器工業会
電話：0120-14-9996 URL：<https://www.jgka.or.jp/>
- エアゾール缶：一般社団法人日本エアゾール協会
電話：03-5207-9850 URL：<https://www.aiaj.or.jp/>